



これからの「食」と「農」の話をしよう
 ~不確かな今を生き抜くための哲学と協同~

私たちの「食」と「農」を考える セミナー **開催** 参加費無料 一般参加OK



令和6年 7月1日(月) 第1部/10:00~12:00 会場 JA長野県ビル アクティホール
 第2部/13:00~15:00 WEBで同時配信

世界各地での対立や戦争、急激に進む円安一激変する国内外の情勢は、日本農業にも大きな影響を与えています。お金を出せば海外からいつでも必要な食料や資源を調達できる時代は過去のものになりつつあります。不確かな世界の中、私たちの住む日本を取り巻く「食」と「農」の実態は？食料安全保障って何だろう？身近な農業の関わり方、できることって何？そんな疑問についてみんなで考えるためにセミナーを開催します。奮ってご参加ください。

第1部 10:00~12:00

テーマ

食料安全保障から考える社会のしくみ

講師 篠原 信氏
 京都大学農学博士
 農業研究者



戦争、燃料や原油高騰、地球温暖化…いざというとき、果たして日本は何人の国民を養えるのか、飢餓が起きる本当の仕組みとは。農業だけでなく、エネルギー、経済、政治など多角的な視点から「食料安全保障」の核心に迫ります。

【プロフィール】1995年京都大学卒業。微生物情報伝達物質クオルモンの研究後、養液栽培では不可能とされていた有機質肥料を使った栽培技術(有機質肥料活用型養液栽培)を開発。研究の傍ら、食料問題を調査、「日本は何人養える?」というレポートにまとめた。「指示待ち人間」はなぜ生まれるのか?というレポートをネット上でまとめたところ、話題に。

テーマ

信州の食と農をもっと身近に

(1)信州で農ある暮らしをはじめよう

半農半X、家庭菜園、定年帰農、農業バイト…1人1人のライフスタイルや価値観に沿った農業従事がきつとある! 私たちができる信州農業への色々な関わり方や事例について紹介します。

講師 山村 まゆ氏 長野県農ある暮らし相談センター
 農ある暮らしアドバイザー



(2)「国消国産運動」について

農業は「する」だけが全てではありません。地元産農畜産物を「知って」「買って」「食べる」。JAグループで行う「国消国産運動」を通じ、消費者の皆さんができる色々な農業の応援方法を紹介しします。

JA長野中央会 武重 正史専務

第2部 13:00~15:00

食料・農業・農村基本法改正内容と今後の農政課題

“農政の憲法”と呼ばれる食料・農業・農村基本法が制定以来初めて見直され、改正法が成立しました。今後の農政を占う改正法のポイントや生産現場で取り組むべき課題などを紹介します。

講師 中嶋 康博氏
 東京大学大学院農学生命科学研究科 教授
 (食料・農業・農村政策審議会委員)

今日における「協同活動」の意義と役割

移り変わる世界情勢や激化する競争社会の中で、みんなが助け合い、暮らしやすい社会づくりをどのようにしていったら良いのでしょうか。2025年の国際協同組合年を控え、“協同組合”が果たす役割について紹介します。

講師 比嘉 正浩氏
 日本協同組合連携機構(JCA)専務理事

参加ご希望の方、
 詳細は



お問い合わせ
 JA長野中央会
 TEL.026-236-2030

主催



JA長野中央会 / JA長野県農政対策会議